

わかさ 議会だより

平成
26年
11月号

第150号



議会事務局のアドレスへ



目次

P. 2～3.....	25年度決算報告
P. 4	決算審査特別委員会
P. 5	決算審査意見
P. 6～9.....	一般質問Q&A
P. 10	9月議会定例会
P. 11	請願・陳情書審査結果
P. 12～13.....	委員会活動報告
P. 14	わたしの想い(兵頭さん、伊井野さん)

いっぱいはいれ(若桜学園運動会)

開校3年目を迎える若桜学園で運動会。今年のスローガンは、「Catch the chance」朝から天候に恵まれ、運動会がスタート。児童、生徒が精一杯の力で演技をしている姿をみると、誇らしく思います。残念ながら、2演技を残したところで雨が降り中止。後日、残りの演技が行われました。

■消防費

- ・常備消防費 8103万円
- ・非常備消防費 1009万円
- ・災害対策事業 3223万円

1億2500万円



完成した若桜町防災備蓄倉庫



若桜鉄道

■商工費

- ・商工振興費 3774万円
- ・観光事業費 4077万円
- ・氷ノ山集客促進事業 3288万円

1億3800万円

■衛生費

- ・塵芥処理対策事業 8395万円

1億7800万円

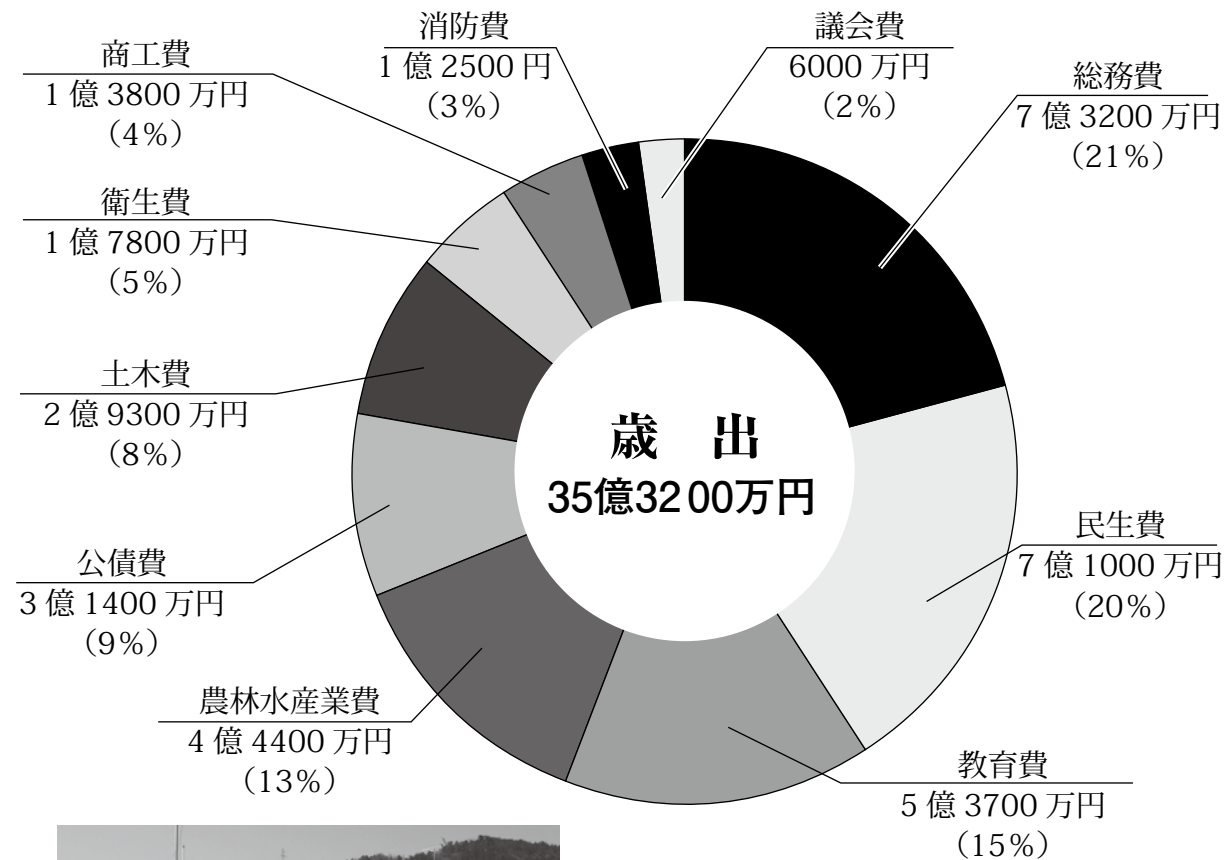
■土木費

- ・町道新設改良事業 6119万円
- ・町営住宅管理事業 2473万円

2億9300万円

【特】別会計

事業名	歳入	歳出	一般会計からの繰入金
国民健康保険	4億7796万円	4億5485万円	3215万円
介護保険	5億3435万円	5億3277万円	6580万円
後期高齢者医療	5191万円	5188万円	2047万円
簡易水道	1億294万円	1億139万円	3137万円
公共下水道	1億7334万円	1億7334万円	1億2272万円
農業集落排水	8835万円	8835万円	7877万円
赤松団地造成	679万円	679万円	668万円
財産区造林	323万円	323万円	なし
住宅新築資金等貸付	83万円	83万円	なし
索道会計	5214万円	5214万円	なし



※金額は四捨五入により合致しない場合があります。



改修が終わったわかさ29工房

■農林水産業費

- ・有害鳥獣駆除対策 2417万円
- ・地籍調査事業 2500万円
- ・森林事業 4183万円
- ・木質バイオマス資源活用事業 2221万円

4億4400万円

■教育費

- ・若桜学園管理費 2256万円
- ・通学対策事業 925万円
- ・温水プール管理費 1632万円
- ・給食センター費 2680万円

5億3700万円



完成した若桜町給食センター

■総務費

- ・若桜鉄道対策事業 6994万円
- ・バス運行事業 4894万円
- ・町長・議会議員選挙 561万円

7億3200万円

■民生費

- ・支援費事業 9952万円
- ・隣保館運営事業 2764万円
- ・後期高齢者医療事務費 8321万円
- ・生活保護扶助費 6442万円

7億1000万円

平成25年度
決算

安心安全な学校給食へ
給食センター完成

一般会計

歳入 37億222万円

歳出 35億3166万円

公債費 3億1396万円

※事業を行うために借り入れたお金の元利償還金と一時借入金利息等の合計額。

決算審査意見（要約）

監査委員 藤原 重明

監査委員 山根 政彦

8月20日から27日までの6日間、平成25年度各会計歳入歳出決算書、事項別明細書及び実質収支に関する調書の計数と歳入歳出整理簿等関係諸帳簿・証書類を照合した結果、すべての重要な点において適正に表示されているものと認められました。

会計における残高は、預け入れ金融機関の預貯金残高と符合しており、適正であると認められました。また、基金に関する調書の計数並びに土地開発基金の運用についても、適正であると認められました。

留意、検討事項

○財政運営の指数

財政関係指標等の数値は、

経常収支比率 85.9%から81.0%(4.9ポイント減)

財政構成は、やや改善した。さらに、指数となる75%に向けた改善努力を望む。

区 分	数 値	
	平成24年度末	平成25年度末
経営収支比率	85.9%	81.0%
実質公債費比率（単年度値）	10.6%	7.5%
実質公債費比率（3年間の平均値）	10.7%	9.3%
地方債残高	52億3415万円	51億2281万円
内 訳	一般会計	30億8505万円
	簡易水道事業会計	2億5760万円
	公共下水道事業会計	10億6711万円
	農業集落排水事業会計	8億 155万円
	赤松団地造成事業会計	2283万円
基金残高	19億7337万円	22億1859万円

○財産管理事務

物品の管理台帳が整備不足で、現在残高の把握がなされていない。棚卸による在庫確認はもとより、早急にシステム対応等も含めた台帳を整備され、適正な物品管理を行われたい。

○各種税と使用料等の収入未済額の回収と管理

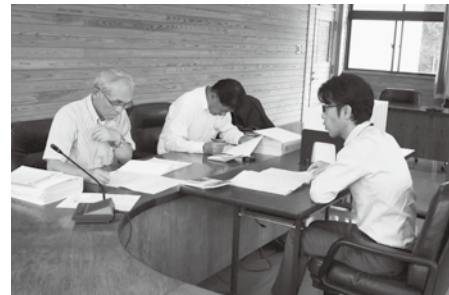
徴税をはじめ各種税と使用料等の収納率は、現年度分はいずれも99%以上で、滞納繰越分を含めても90%以上となっている。

また、収入未済額の処理において、滞納整理対策本部による特別徴収、滞納処分及び不納欠損手続等実施し、収入未済額は減少している。引き続き対応されるよう期待する。

○財務会計の見直し等について

- ① 昨年も指摘したが、歳計外現金等の取り扱いについては細かな定めがなく、慣例による事務執行となっている。
- ② 物品についても現状と財務規則がそぐわない等、問題点が散見される。財務規則の見直しを行い、事務の適正化を図られたい。
- ③ 歳計外現金残高は平成20年のシステム移行時の残高が反映されてなく、システム上の残高と合致していない。早急に修正されたい。

※その他、滞納管理、公有財産の取得及び処分、制度貸付以外の貸付、災害対策、予算執行についての指摘がありました。



定期監査の様子

まとめ

平成25年度の決算額は、歳入歳出差引残額1億7058万円で、繰越財源を控除した実質収支は1億4873万円の黒字決算となっている。

また、特別会計（10会計）の実質収支額は、7会計が一般会計から繰り入れを受けた結果である。

特に、介護保険事業については、給付額が増加、その補填のために、一般会計からの繰入金が増加している。人口減少、高齢化が進んでいる当町では、ますます各種保険事業の給付額の増加が進むと予想されることから、これを抑制する施策が必要と思われる。

また、基金残高は増加傾向で、起債残高は減少傾向にはあるが、水道施設や公営住宅の改修などハード面の課題も山積しており、決して財政的に余裕があるとはいえない。限られた財源のなかで合理的且つ効果的な行政運営が行われるよう期待している。

決算審査特別委員会

審査の経過及び結果

9月11日の本会議において、決算審査特別委員会に付託された案件を審査するため、会期中の17日～24日に当委員会を開催し、執行部の出席を求め、慎重に審査を行いました。

当委員会に付託

された議案は主なる意見と監査委員審査意見を重く受け止め、行財政の改革に努められることを期待し認定するべきと決定しました。

主なる意見

一般会計

- ① 企画費
移住定住促進事業
・移住定住は、重要課題である。各課連携により受け入れ態勢の充実を図られたい。
- ② 社会福祉費
老人福祉費
・シルバー人材センターについては、行政に頼らない運営となるよう、営業努力するなどの指導をされたい。
- ③ 高齢者等交流拠点施設（寄来屋）の年間利用が少なくない。地域おこし協力隊などの活用を含め有効利用を検討されたい。
- ④ 地域福祉センター管理事業
・地域福祉センター・ドリーミリーの借地については、土地代替地を

- ⑤ 農業費
地籍調査費
・地籍調査は平地だけでも平成41年度の完了予
- ⑥ 農産振興費
・堆肥散布機については、交渉され、早急に対処されたい。

- ⑦ 定になっているが、体制を強化し、早期完了にむけ対処されたい。
- ⑧ 定になっているが、体制を強化し、早期完了にむけ対処されたい。



決算審査の様子

- ⑤ 林業費
・緑の産業再生プロジェクト事業で購入された薪割機は、計画にそった活用により、地元雇用創出及び林業の活性化に努められたい。
- ⑥ 商工費
観光事業費
・若桜町観光事業団貸付金については、経営状況を十分把握し、審査を厳密に行い執行されたい。
- ⑦ 教育費
生涯学習情報館運営事業
・生涯学習情報館（図書館）は蔵書が増えているにも関わらず、利用数が少ない。来館者を増やすよう改善を図られたい。
- ⑧ 町の観光・活性化に係る団体
（二財）若桜町観光開発事業団
（有）若桜農林振興
若桜町観光協会
・これらの団体は、町の出資金・指定管理料・補助金等によって運営されているが、委託者としての指導管理を徹底されたい。

- ① 国民健康保険事業
・一昨年度、昨年度と保険給付金が下がっている。引き続き予防を重視した事業推進に努められたい。
- ② 介護保険事業
・介護給付費は、年々増加傾向にある。抑える取り組みの一つとして、認知症予防が大事であり推進されたい。
- ③ 公共下水道事業
・下水道事業については、毎年一般会計からの繰入がされている。引き続き接続率の向上に努められたい。
- ④ 索道事業
・町営スキー場は、町外の従業員が多く見られる。積極的に地元雇用を努められたい。

特別会計

Q 一般質問 A

詳しくは

若桜町ホームページ→各課のご案内→議会事務局→会議録



質問者
中尾 理明 議員
岡田 一弥 議員
山根 政彦 議員
青木 一憲 議員

9月議会定例会の一般質問は、9月12日に行われ、4人の議員が町政の課題について質問しました。質問の要旨と町長の答弁を要約して紹介します。



岡田 一弥 議員

Q 日本創成会議の報告は、施策もなしにこのままいけば、推計のような人口の減少が起こり、国及び県・市町村は、危機感をもって、施策を出す

小林昌司町長

Q 日本創成会議人口減少問題検討分科会が発表した、消滅の可能性の高い全国市町村のランキングで、若桜町は25番目でした。町長はこれをどのように受け止めて感じられたかお尋ねします。

若桜町の人口減少問題について

対策の具体的案とその理念は 人口減少対策推進本部を 設置

べきとの警鐘を鳴らされたものと、考えています。執行部と議会、町民が一緒に考え行動することによって、諦めずに危機感を持って、人口減少対策を進めなければならぬと思います。攻めに転じなければ、活路はないと思っています。特に、この人口減少問題は、若い世代の意見を聞いて施策に取組むことによって、若い方に喜んで住んでもらえる町を作っていきたいと考えています。

Q この2040年問題に会議などを開いて将来的な検討や対策を講じられたと思います。今後の方向性、基本的な方針をお伺いします。

A 豊かな自然環境、子育て環境を前面に打ち出すことと、これまで取

小林町長

Q 日本創成会議・人口減少問題検討分科会が発表した、2040年の若桜町の人口は、1570人と推計されておりますが、この事に対する今後の、若桜町の町づくりのための理念をお伺いします。

A 日本創成会議人口減少問題検討分科会の報告を受けて、本町においては5月19日に、私を本部長として副町長、教育長及び、管理職で組織する若桜町人口減少対策推進本部を設置するとともに、町職員で組織する、若桜町人口減少対策プロジェクトチームを設置致しました。また、町民の方々の意見を踏まえ、人口減少対策推進を図るため、一般公募等で若桜町人口減少対策検討委員会を組織し、話し合いを進めている現状です。

小林町長

Q 現在実行されている政策や、プロジェクトや予算など、来年に向けて大幅な見直しや修正の必要はないのか、詳細かつ具体的にお尋ねします。

り組んでいる各種施策を精査して、若者が結婚して子どもを産み、育てやすい環境を整えることが、重要であると思っています。また、子どもたちにも町の良さを知ってもらい、教育を通していつまでもふるさとへの愛着を持ち続け、まちづくりにすすんで参加出来る人に育ってほしいと思います。理念は持続可能な地域、どんな地域にしたいのか、どのような取り組みにしたいのかも再検討してみたいと思っています。いつまでに、誰が何をどうするか、そういうプロセスも非常にやっていかないと事業は進行していかないと考えております。町執行部としても、しっかりとこの問題に取り組みたいと思っています。



子どもの居ない中之島公園



中尾 理明 議員

Q 平成25年度は国保税10%引き上げの結果、決算は黒字となり、26年度補正予算に699万円余基金に積み立てられました。税を引き上げた年の決算が黒字の場合は、税引き下げに充てるべきだと思いますが、いかがですか。

小林昌司町長

A 平成25年度は四年ぶりに税を上げさせていただきました。加入世帯の減少で税額は目標を下回りましたが、ここ数年健康づくりに力をいれ、その成果も出ていると思います。26年度基金への積み立てを行ったのは、高額医療やインフルエンザの流行など何かあった時の財源に充てるためです。従って税の引き下げは今のところ考えていません。若桜町は所得が県下二番目に低く、単町での国保運営は限界とも感じており、平成29年を目途に県一本の制度移行が必要だと考えています。

防災対策

防災マップ掲載の避難所見直しは？
見直された避難所の周知図る

Q 私は、平成24年9月定例会で、23年3月作成の防災マップに掲載されている各集落の避難所の問題点について質問し、



防災訓練の様子

町長は適宜変更すると答弁されましたが、どのように見直しされましたか。

小林町長

A 24年には各集落で検討が行われ、最新の避難場所を届け出て頂きました。それが各集落の避難場所だと思っています。直近の防災会議でも公共施設の避難所を確認していただいています。決まったことは、各集落へ周知を図りたいと思います。

浅井バス停

日交バス若桜車庫に
屋根付き待合所を
当面バス内待機ができる様要望する

Q 昨年度浅井集落での議会報告会で、「日交バ



日交バス若桜車庫

A 日交車庫からのバス利用については、一つは、若桜学園の9人が下校時に、二つには、7時15分始発を1〜3人が利用されていると聞いています。日交と協議し、発車10分前から車内待機できる様要望したいと思っています。また、今後待合所の設置についても検討していきたいと考えています。

小林町長

スのバス停に屋根がほしい。下向に帰る子どもたちが濡れている」と意見が出されました。その後私は一般のバス利用者から同様な要望を聞きまし

上下水道問題

上下水道事業懇話会
提言の具体化は？
来年3月、基本計画
策定順次実施へ

Q 今年2月上下水道懇話会により、事業経営に関する提言が提出されました。町としてその内容に沿った取り組みが始まっていると思いますが、現状はいかがですか。

小林町長

A 懇話会の提言書を受け、基本計画策定のため、専門的な知識のある業者に委託し、来年3月にはそれが完成します。その後、水道施設の統合や、施設の改良を盛り込んだ10年間の基本計画を策定し、事業を進めたいと思っています。平成27年度には、早急に改良が必要な池田地区簡水を統合したいと考えています。

小林町長

A 無駄なところは皆で議論して削っていく、これは我々の地方自治の中でも、最小の経費で最大の効果を出すことは大切です。現在進めている政策やプロジェクト、予算については第9次若桜町総合計画に基づいて進めております。若桜町人口減少対策推進本部及び、プロジェクトチーム、若桜町人口対策検討委員会での意見や提案を早急に検討して、実施できるものは予算に反映していきたいと思っています。議員の皆さんや町民の皆さんの意見を聞き入れながら、来年度の編成作業に入りたいと思っています。

Q一般質問 A



青木 一憲 議員

Q 5月19日に、若桜町人口減少対策推進本部を立ち上げられ、4か月経ちましたが、進捗状況をお尋ねします。

A 若桜町人口減少対策プロジェクトチーム会議を2回、若桜町人口減少対策検討委員会は1回開催しました。プロジェクトチームは、現状把握や課題の抽出、人口減少を食い止める施策の検討を進めています。また、人口減少対策委員会は、日頃から感じていること、

小林昌司町長

人口減少問題について

若桜町人口減少対策推進本部の進捗状況は

プロジェクトチーム2回、対策検討委員会1回開催、来年度予算に反映

考えていることを発言し、今後施策として取り組むべき意見、提案を協議、検討を重ね、意見をまとめ、来年度予算に反映したいと考えています。

お互いの情報交換は課題解決と一緒に

プロジェクトチームとの、情報交換の場が大事だと思っています。どう考えておられるか、お尋ねします。

小林町長

A 様々な検討や議論を行うことにより、政策立案能力の向上を図ることが重要であると考えています。議会と執行部が切磋琢磨することは、お互いを成長させると思っています。行政全てに係るものであり、議会

Q 日本一子育て支援が充実している町として、全国放送され、町の宣伝効果があつたと思います。放送終了後、どのぐらいの問い合わせ、対応、具体的な質問内容が分ければお尋ねします。

A 個人からは1件、ホームページのアクセス件数は急増しました。厚労省や自治体、マスコミからの問い合わせがあり、町内で行っている子育て支援について情報提供をしています。これからも、子育てしやすい若桜町をPRしていき、少しでも多くの方に住んでもらい、子育てをしてもらえよう鋭意努力をしていきたい。今が若桜町を大きく情報発信するチャンスだとも思っています。

小林町長

宣伝効果は今が情報発信のチャンス

と執行部の関係を超越して、課題解決の議論を一緒にしていきたいと思っています。



山根 政彦 議員

Q 役場をはじめとする公共施設には、英語・韓国語表記の案内看板を早急に検討したいと考えています。

Q キャラクター「鬼っこ」をモチーフにした看板などがかなり老朽化しており、景観を損ねているものもあるが、現状をどのように考えておられますか。

国語・中国語表記がされているが、観光案内看板にもこうした表記をしてはと思うが、所見を伺います。

小林町長

A 若桜町の活力再生には、観光客の交流人口を目指すことは不可欠であると考えています。観光客誘致については、国内外幅広く受け入れられる環境整備が必要であり、観光案内板の外国語表記について前向きに取り組んでいきたいと考えています。

Q 外国語表記のホームページを作成し、韓国を中心とした外国人観光客の誘致を推進してはどうかと思いますが、所見を伺います。

小林町長

A 外国語表記設定には経費や更新などの課題



「鬼っこ」をモチーフにした案内看板

もあり、すぐに対応することは困難と考えています。現在作成している韓国語・英語・中国語表記の観光パンフレットをPDFで取り込み町のホームページに掲載することも検討してみたいと考えています。

災害時の情報提供

スマホアプリの活用を現時点では考えていない

Q 避難勧告や避難指示について、町民にどのように周知されるのか伺います。

小林町長

A 防災行政無線やテレ

ビ電話を活用しますし、さらに住民の皆様には日頃からテレビやラジオ等を通じて情報の収集に努めていただき、隣近所の皆さんそして要救護者の方々に対する協力を惜しまず、助け合いながら自分自身の身を守るための行動をとっていただくことを周知していきたくと考えております。

Q 電話・電気・光ケーブル等の通信網が断絶された場合、各集落への情報はどのように伝えるのか伺います。

小林町長

A テレビ電話は電気が使えなければ活用することはできませんが、防災行政無線はバッテリーに切り替わりますので約1日程度は情報提供に使用できるものと考えております。

Q 若桜町の避難勧告等「あんしんトリピーメール」で情報提供することを検討されてはいかがでしょうか。

住宅の増築、改修が早急に必要では

アパート形式の賃貸住宅4戸建設予定

Q 子育て支援が充実していても住むところがないと移住・定住にはつながらない。さらなる住むところを整備することが早急に必要だと考えます。町長はどのように思われるか、お尋ねします。

小林町長

A 現在、赤松団地に一戸建ての若者向け住宅を、2棟建設中です。今年度、空き家を借上げて、必要最低限の改修を行った上で移住希望者へ一定期間賃貸することを考えており、早期に整備したいと思っています。また、若桜町に民間アパートがないので、交付金を活用して赤松団地にアパート形式の賃貸住宅4戸を建設する予定です。

平成27年度からは、若葉団地の建替えを考えており、若者の世帯、高齢者世帯、単身世帯など多様な世帯に、対応した住宅にすることで、地域に愛着と誇りを持って、住



アパート形式賃貸住宅建設予定地

み続けることのできる住宅環境の整備を、行いたいと考えています。

Q 空き家情報が、他町に比べるとアピール度が少ないと思います。町長の所見をお伺いします。

小林町長

A 2年前から移住定住専門員を置き、空き家の対策をしています。もつと情報は出さないといいなと思っています。空き家の改修には、どれぐらい費用がかかるのかなど、皆が情報を共有してこそ進んでいくものだと思います。いくら宣伝しても、受皿が揃っていないと成功しないので、ホームページに情報提供できることを、早急に考えていきたいと思っています。

Q一般質問 A

町内観光案内

観光案内看板の老朽化が進んでいるが

看板の計画的且つ総合的整備を早急に検討したい

小林町長

A 本年4月から「あんしんトリピーメール」を活用してスマートフォンや携帯電話に情報提供をすることができるようになってまいりました。今後、町民の皆さんに登録方法について広報誌などで周知をしたいと考えております。

Q 安否確認をするためのスマートフォン・携帯電話のアプリを活用して、在宅、屋外にかかわらず、一斉に独居老人等の状況が把握できるのではと考えますが、それらの導入について検討されてはどうか伺います。

小林町長

A 高齢者の方はあまり携帯を持ち歩く習慣がないことやアプリが使いこなせない、通信費用がかかる、色々な課題がありますので、将来的には考える必要があると思います。すけども、現時点では考えておりません。

九月議会定例会

移住定住に期待 若者向け住宅2棟完成

平成26年度

一般会計総額

36億5600万円

9492万円を追加補正

予算

■平成26年度若桜町一般会計補正予算(第3号)

主な歳入

前年度繰越金 3500万円
公共施設等整備基金繰入金 2830万円
がんばる地域交付金 731万円
美しい農村再生支援事業費補助金 197万円
農地中間管理事業費補助金 200万円
しつかり守る農林基盤交付金 200万円
町営住宅管理事業 3561万円

観光事業費 1529万円
生活保護総務費返還金 736万円
簡易水道事業特別会計繰出金 236万円
棚田保全地域活動事業 197万円
林道維持費 495万円

■平成26年度若桜町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

236万円を追加し、総額1億2106万円とした。

■平成26年度若桜町財産区造林事業特別会計補正予算(第1号)

202万円を追加し、総額905万円とした。
■平成26年度若桜町索道事業特別会計補正予算(第1号)

23万円を追加し、総額3690万円とした。



若者向け住宅

平成26年第5回議会定例会は9月11日に招集され、町長から提出された議案23件、議員提出議案1件を慎重審議の結果、全議案を可決し、9月25日に閉会した。

条例

- 早期退職希望者の募集及び認定に関する条例の制定について
- 若桜町いじめ問題調査委員会及び若桜町いじめ問題検討委員会に関する条例の制定について
- 若桜町営若者向け住宅の設置及び管理に関する条例の制定について
- 若桜町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

その他

- 特別職の職員等で非常勤のものの給与に関する条例の一部改正について
- 若桜町職員の給与に関する条例の一部改正について

財産の無償貸付について

- 一、無償貸付をする財産
八頭郡若桜町大字若桜 字下町416番地1 宅地 119㎡
- 二、無償貸付の相手方
若桜町商工会 会長 木島儀弘
- 三、無償貸付の期間
契約締結の日から10年間
- 四、無償貸付の目的
コミュニティサロン及び、店舗等に使用し、町民の交流の促進と商店街の活性化のため。

発言の取り消しについて

一般質問の発言の中で、「へんなわけのわからない」と、発言がありました。この発言は、正常な介護を受けられなかった事を、「へんなわけのわからない」と表現し、言葉足らずで誤解を与えてしまったということで、この発言を取り消されました。

議員提出議案

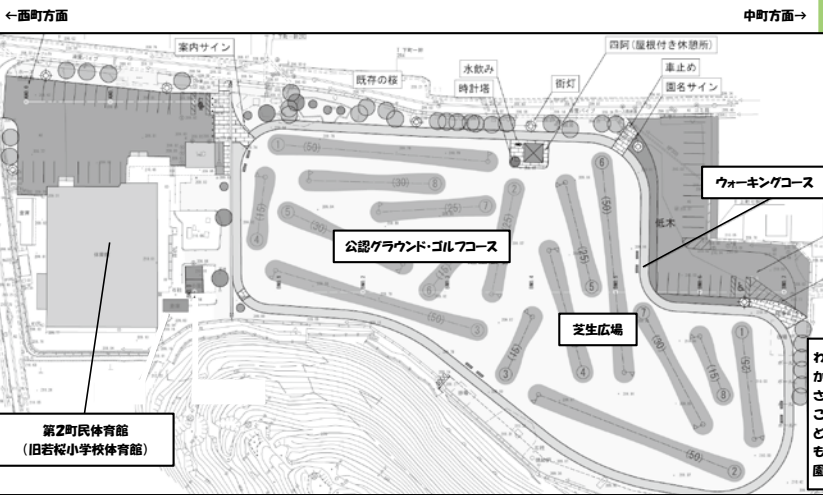
軽度外傷性脳損傷に関わる周知及び労災基準の改正などを要請する意見書

第4回臨時会

平成26年第4回臨時会は8月18日に招集され、町長から提出された議案1件を慎重審議の結果、可決し閉会した。内容は次のとおりです。

工事請負契約の締結について

工事名 旧若桜小学校跡地整備工事
工事場所 若桜町大字若桜501番地
契約の相手方 中一建設株式会社
契約金 7830万円
(消費税及び地方消費税相当額を含む)
契約締結の方法 指名競争入札



旧若桜小学校跡地整備計画<健康広場(仮称)>

第6回臨時会

平成26年第6回臨時会は10月24日に招集され、町長から提出された議案1件を慎重審議の結果、可決し閉会した。内容は次のとおりです。

工事請負契約の締結について
工事名 水ノ山高原の館「氷太くん」バ
イオマスボイラー導入工事

工事場所 若桜町巻米635番4
契約の相手方 株式会社 原田建設
契約金 9363万6000円
(消費税及び地方消費税相当額を含む)
契約締結の方法 指名競争入札

請願・陳情書審査結果

9月議会定例会において各委員会に付託した陳情は、慎重な審査の結果、次のとおり決定しました。

番号	受理年月日	件名	陳情者等	付託委員会名	審査結果
請願第7号	平成26年5月26日	「海外で戦争する国」にする集団的自衛権の行使容認に反対する意見書の提出を求める請願	鳥取県憲法会議 代表 浜田 章作 紹介議員 中尾 理明	総務産業 常任委員会	不採択
陳情第14号	8月1日	護岸の嵩上げ及び河床掘削に関する陳情書	屋堂羅自治会長 伊井野 孝一	教育民生 常任委員会	採択
陳情第15号	8月1日	砂防ダム設置に関する陳情書	屋堂羅自治会長 伊井野 孝一	教育民生 常任委員会	採択
陳情第16号	8月1日	移動通信鉄塔管理道路の町道編入早期実施に関する陳情書	屋堂羅自治会長 伊井野 孝一	教育民生 常任委員会	採択
陳情第17号	8月1日	林道新設に関する陳情書	屋堂羅自治会長 伊井野 孝一	総務産業 常任委員会	継続審査
陳情第18号	8月11日	軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情	軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本久美子	総務産業 常任委員会	採択

請願 陳情

請願・陳情は、町民の皆様が町政などについての要望等を、直接議会に書面で提出できる制度です。議長宛に議会事務局へ提出してください。提出された請願・陳情は関係の常任委員会で審査の上、本会議で採決し、採択された請願・陳情は行政に生かされます。詳しくは、議会事務局(☎82-2212)にお問い合わせください。

委員会活動報告

教育民生 常任委員会

平成26年
7月7日 閉会中の継続審査

教育委員会 健康広場（仮称）について

Q 管理は。

A 今年度は、芝が落ち着くまで専門業者と教育委員会が管理し、その後は民間団体に委託。

Q 鹿防止柵は。

A こども園山側の砂防工事が2、3年かかるので、それまでは、電気柵を設置して対応する。

▶意見 冬場の除雪対策のため、こども園側の駐車場入り口の向かい側の低木をとっては。

町土整備課 若者向け住宅建設事業について

説明 プロポーザル方式で、町内業者4社より各2点、計8点提案があり、町長と若い職員男女4人で審査した。（2棟とも木造2階建て3DK、約85㎡）

Q 3LDKは、検討されなかったのか。

A あくまでも、町営住宅なので。

町道新設改良について

説明 調査測量設計業務は、小船西ノ平2号線・屋堂羅1号線、4号線は、10月10日まで。測量、設計終了後、用地交渉、立木等補償交渉を行う。糸白見2号線は、7月中に業務発注を行う。道路ストック点検（町道照明施設22基）は、社会資本総合整備交付金の対象事業とするための点検であり、点検結果を踏まえて、次年度以降に整備を行うものです。

簡易水道改良事業について

説明 簡易水道基本計画及び変更認可設計業務は、3月25日まで。

Q 水源確保は。

A 浅井戸などを検討中。

8月8日 閉会中の継続審査

町民福祉課 スtockヤードについて

説明 12月末までに完成。運営については、試行期間を設定し、案を作成し協議したい。

臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金について

説明 対象候補者に通知し、8月に1回目給付予定。申請時に、身分証明書の未提出が多い。対象者も住民税非課税世帯か分かりにくいので、とにかく申請してもらうよう呼びかけている。

▶意見 身分証明書の回収、対象者への呼びかけ等大変だが対応を徹底されたい。

町土整備課 町営住宅について

説明 若者向け住宅は10月20日完成、年内に入居予定。9月定例会に設置管理条例上程予定。

Q 古い町営住宅は払い下げられないか。

A 起債償還期間が越えていれば可能。一時の金額が張るが、できれば検討したい。

Q 今後の構想は。

A （町長）赤松団地の空いている場所に住宅を2、3棟増やしたい。

▶意見 若葉団地の改修計画など、住民説明をしっかりとほしい。

教育委員会 健康広場（仮称）について

説明 こども園側の駐車場の低木をやめ、芝桜へ。進入防止はU字ガードで対応する。冬はガードを取り、除雪も可能に。

所管施設視察

調査先

第1 町民体育館・ゆうゆうわかさ・公民館・情報館・第2 町民体育館

指摘事項

第1 町民体育館……熱中症対策のためにも、事務室にエアコンは必要である。

9月8日 9月定例会補正予算

総務産業 常任委員会

平成26年
7月15日 農業関係について

説明 平成25年度の水田、畑、遊休農地、荒廃農地の面積と5年後の予想の説明。生産調整による水田面積の推移、生産品目と生産額、認定農業者の状況、集落営農関係、特産品目について説明。

▶意見交換

高齢化に伴い荒廃する農地について

- ・荒廃農地の調査を、農業委員会等と連携して行って頂きたい。
- ・将来を見据えた考え方をもち、農家にアンケート調査を行って頂きたい。
- ・米等の販売ルートの開拓が必要。
- ・景観に配慮した耕作が必要。

特産品の開発と販売体制について

- ・販売ルートの開拓も必要だが、生産力不足で販売量を確保できない。
- ・流通・独自販売ルートの情報が不足している。
- ・農業者に町としてもできる限りの支援策を検討したい。

●まとめ●

町内の耕作放棄地、荒廃農地の実態調査を行い、これ以上増やさないための施策が必要。今後も、農産物の新しい販売ルートの開拓や生産力が上げられるよう意見交換を重ねていきたい。



山間部の耕作放棄地

8月18日 観光事業等について

説明 平成24・25年度観光客の入り込み状況、各事業費・指定管理料・補助金について説明。

▶意見交換

観光事業全般

- ・指定管理料に見合った収入が見込まれない状況の中、目先を変えた取組が必要。今後、観光事業を行うための支出が増えるばかりで、町内に収入が生まれてこない。交付税などを有効に利用しながら、町内に収入が増える施策が必要。
- ・観光客を呼び込むだけでは地域にお金が落ちない。業者の努力も必要だが、行政として収入などを把握して、民間の後押しが必要。
- ・商工会、観光協会と連携しながら、数字の把握や後押しを検討したい。
- ・ハード、ソフト両面が出来ていないのが現状で、ハードな部分は行政が行い、ソフト面に関しては民間でやっていく必要がある。議会、執行部、関係者などと話し合いを重ねる事が大切。
- ・宿内から奥の名所に行く交通手段が少ないのも問題がある。

●まとめ●

委員、町長、企画財政課、産業観光課の様々な活発的議論がなされた。意見交換を続け、実現化に向けて会を重ねていきたい。

9月4日 9月定例会補正予算
米の買い取り価格問題について

所管課からの9月定例会補正予算の説明を受けた後、米の買い取り価格問題について意見交換を行いました。

わたしの想い



このコーナーでは、議会、議員や議会だより等に関わる町民の皆さんからの御要望や率直なご意見を紹介いたします。



若桜への期待

兵頭 和就さん
(中原)

7月末に鳥取市内から若桜へ引越ししてきました。

現在は、妻の実家に住んでいます。

私達が若桜へ引越しする事を決めたのは2つあり1つ目は、私の仕事です。市内にある鳥取地方協力本部の鳥取募集案内所で広報官として勤務しています。広報官とは、自衛官募集や自衛隊の後方をします。私は、若桜・八頭・市内の一部を担当地域とし募集しています。その為、もっと地域に根付いて自衛官募集がしたいと思っています。

2つ目は、子どもたちを若桜で育てたいと思ったからです。

こども園の保育料無料化や若桜学園の給食費の半額負担等の町の支援はとても魅力的だと思います。そして子どもたちには、私と妻が育ったこの環境で色々な体験をしながらのびのびと育ててほしいのです。

引越しをして不安な私達を温かく迎えて下さった若桜町の皆様に感謝しています。

これから、若桜町と共に私達家族も成長していきたいと思っています。



わかさこども園

地方創生 林道網整備で若桜は蘇る

伊井野 政之さん
(屋堂羅)

日本経済は上向いた様ですが、中央と地方の格差は益々大きくなり、このままで対策を打たなければ、全国で896の自治体は機能を失い、若桜町もその仲間になると言われています。その対策は地域により、人により異なると思いますが、私はまず若桜の立地条件を前提に考えなければ方向を誤ると思います。

若桜町の面積は約2万ha、その内95%の1万9千haは林野です。この山を活かすのは何か、先ず林道です。現在若桜町の民有林の内、人工林が8千haあり、その蓄積材積は310万㎡で、皇居の豊明殿にも使用された日本屈指の優秀材など3億円が眠っています。しかし林道が無ければ「絵に描いた餅」に過ぎません。農林中金総合研究所のレポートによると、ドイツは林道密度がha当たり50m、作業道密度がha当たり60mに達し、優秀な林業機械を導入して生産性を高めて、日本の1/2以下で伐出しているそうです。自給率は100%で輸出もしています。それに比べ日本は林道密度が低く、若桜町もha当たり5.8mです。森林の公益的機能は、全国で80兆円、若桜町だけでも580億円と言われています。5月18日に来町された林野庁の新島課長も支援すると約束して下さいました。林道整備で雇用が生まれますし、活力も出ます、若桜町も蘇ります。頑張りましょう、真っ暗な夜でも朝が来ます。

意見・写真をお寄せください

メール gikai@town.wakasa.tottori.jp

FAX 0858(82)2222

あとがき

朝夕めっきり寒くなり、標高の高い山では初雪のたよりが届く季節となりました。秋の夜長、家族揃って和やかに過ごしのことと拝察いたします。

広島の大豪雨災害、御嶽山の噴火で被害に遭われた方々にはお見舞い申し上げます。近年の自然災害は地球規模で発生しており防災、環境問題は喫緊の課題です。

この度、安倍政権は地方創生を最重要課題として、まち・ひと・しごと創生本部を設置し、地元出身の石破衆議院議員が担当大臣に任命されました。其々の地域がより活性化するために特徴を出すことが求められます。皆様との活発な意見交換をしながら、若桜町ならではの特徴ある町を目指していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

議長 川上 守
議会だより調査特別委員会

委員長 青木 一憲
副委員長 山本 安雄
委員 岡田 一弥
委員 小林 誠
委員 山根 政彦